

黒潮

平成19年1月発行

第98号

和歌山県看護協会会報



高野山(冬)

写真 広報委員 八幡 春美

CONTENTS

- ・新年のあいさつ2
- ・ナース章受章者のことば3~5
- ・看護の希い(19)6~7
- ・保健師のコーナー8
- ・助産師のコーナー8
- ・看護師のコーナー8
- ・リレーエッセイ9
- ・私の〇〇9
- ・My Hospital10
- ・近畿地区研究学会を終えて11
- ・和歌山県看護協会の動き12

会員総数 5,751名
名誉会員 1名
保健師 190名
助産師 186名
看護師 4,455名
准看護師 919名
平成19年1月10日現在

新年のごあいさつ

社団法人和歌山県看護協会

会長 谷 眞子



新年を迎えおめでとうございます。会員の皆さまには平素より県看護協会事業に温かいご支援とご協力を頂いておりますことに厚くお礼申し上げますと共に今年もよろしくお願ひ申し上げます。さて、昨年は秋篠宮家に親王様のご誕生という慶事もございましたが、相変わらず社会面では暗いニュースが多かったように思います。新しい年を迎え、今年こそは平和で人々が安心して生活できる年でありますようにと願わずにはおられません。

和歌山県の看護界にとって、この3月に和歌山看護専門学校2年課程通信制の学生が卒業を迎えることになり、画期的なことと大きな期待を寄せております。

さて、少子高齢化が進む中で社会保障制度の構造改革が進められ、国民皆保険の堅持と持続可能な医療制度を構築する視点から、医療費の適正化をと昨年4月に診療報酬の改定と新たな高齢者医療保険制度が導入されました。これらによる看護師不足や患者負担増等新たな問題が生じております。今回の診療報酬改定では、患者から見て分かりやすく、患者のQOLを高める医療の実現する視点を置いたことや質の高い医療を効率的に提供するために医療機能分化・連携を推進する視点から在院日数を含む総治療期間を短くする仕組みの構築をあげています。

このように在院日数を含む総治療期間を短くし、患者の生活の質を高めるためには、在宅医療の整備、特に訪問看護ステーションの充実と地域の保健医療福祉機関の連携体制が重要であると考えますがなかなか進まない実態があります。いずれの場合も看護職の量と質が関係してくるところです。特に7対1の看護体制が大きな問題となり、看護師の確保と離職防止が最大の課題になっています。

私たちは、県民の安全と安心を支える看護職として、いつでも、どこでも、だれにでも均質で最良の看護が提供できるために、これまで以上に自己責任に於いて自己のもつ能力開発と維持向上に努めていかなければならないと考えます。

患者の視点に立ち安全で安心できる医療提供のために、国でも看護基礎教育のあり方についても議論されていますが、看護職全体の能力開発が必要であり、県看護協会でも会員教育を更に充実させる必要があると考えています。また、かねてから要望の高い認定看護管理者教育課程セカンドレベル教育について教育機関として認定を受け、できればこの秋に開講できればと考えます。

また、今年は本会が担当して「全国看護フォーラム」や日本看護学会「看護管理」の開催など、今年は県看護協会にとって通常の事業以外に大きな事業を実施する予定です。教育の充実を考えるとときに欠かせないのが看護研修センターの問題で、平成18年度通常総会で承認いただいたことを更に一歩前進させることができればと強く願っております。皆さまには、これまでより以上にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「訪問看護ステーションわかやま・居宅介護支援わかやま」の事業移管について

公益法人制度の改革や県看護協会事業の見直しにより、看護協会立「訪問看護ステーションわかやま・居宅介護支援わかやま」を平成18年12月31日をもって休止し、平成19年1月1日より会員が経営する「株式会社なだいコーポレーション」に事業移管をしました。

ナース章を受章して

社会保険紀南病院 奥村弘次



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜りましたことはこの上もない喜びであり身に余る光栄でございます。心から深くお礼申し上げます。

ひとえにご推進下さいました関係各位の方々始め、上司・同僚・後輩の皆様のご尽力、ご支援の賜と改めて深く感謝致します。

平成12年には介護保険が導入されました。保健・医療・福祉に携わる私達が連携・協働しながら質の高い看護を提供することが専門職の努めであると考えております。今後ともご指導ご鞭撻を頂きます様、宜しくお願い申し上げます。

公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院 杉野満里子



この度、ナース章を頂きありがとうございました。一重に皆様のおかげと感謝申し上げます。

保健助産学部を卒業した頃は、将来保健婦として働くために大学病院で勉強しようと就職しましたがそこでよき先輩、温かい同僚に恵まれ、知らぬ間に35年も和歌山医大病院で働いていました。

若い頃は「内外に看護の専門性をアピールしたい」と看護協会の活動に参加していましたが、今思うと「看護師満足」に明け暮れていたように思います（ハングリーな時代でした）。看護界はいつの間にか人々の望む看護から大きく乖離してしまったように思います。その結果が医療事故に現れています。「異常の早期発見」は、「ナイチンゲール誓詞、悪しき薬を…」はどこに行ったの？という状況があります。現在は、認定看護師育成など医師と共に命を守ることQOLを高めることに重きがおかれ始めていることに勇気付けられています…。長い看護師生活の中で今伝えたいことそれは、医療事故から学んで欲しい（個人の問題としない）ということです。看護管理や教育の立場にある皆様にご、患者ニーズを見失わずミスリードしないためにお願いしたいと思います。

私はこれからも、師長として患者さんやスタッフには「雨にも負けず…」のように尽くす所存です。これからもよろしくお願い致します。

独立行政法人 国立病院機構 南和歌山医療センター 出崎陽子



この度、栄えあるナース章をいただき誠に有り難うございます。私は昭和55年9月より助産師として旧国立田辺病院に就職しました。その頃は分娩件数も多く、いつも20名前後の赤ちゃんに囲まれていました。当院は今、産科医の集約化に伴い8月末から休診になりました。しかし各方面のご尽力により、9月15日より助産師外来を開始し、12月を目標に院内助産院の開設に取り組んでいます。今回のナース章を励みに「助産師だから出来る仕事」女性のライフサイクル各期の援助に、私らしさを出し、取り組んでいきたいと考えます。今後も御指導、御鞭撻をよろしくお願い致します。

国保野上厚生総合病院 楠本好子



このたび和歌山県ナース章を賜り、身にあまる光栄と思っております。ご推薦をいただいた方をはじめ、ご尽力をいただいた皆様に心からお礼を申し上げます。そして今日まで支え励ましていただいた職場の皆さんに、心から感謝の気持ちを表したいと思っております。

日々高齢化が進む過疎地の病院に勤め、地域のニーズに応えるよう心がけてきましたが、昨今は煩雑で多忙な毎日に追われ、振り返ってみれば無力さを痛感します。高度化と複雑化、社会環境の厳しさが増す医療の中で、看護職としての「ゆとり」を保つのは容易ではありません。それだけに「思いやり」や「共感」など看護の原点をしっかりと見つめ、見失わないよう心がけていきたいと思っております。

新井和美



立冬も過ぎ日毎に寒さも増して来ましたが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。平成18年11月1日に栄えあるナース賞を受賞することができ真に有難うございました。皆様の御陰と感謝しております。

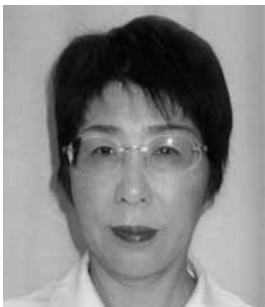
長年にわたり看護職に就き今までは前進のみでしたが、受賞をきっかけに「積極的に業務を遂行し、看護の向上に貢献してきたか」と改めて考えてみました。

医療の進歩に伴い看護の発展・難しさに直面しながら少しでも患者様に満足していただけのように、又、日々の業務を通して後輩の育成にいつも心に留めながら36年間看護職を業務として来た様に思います。

現在は嫁・娘共出産を控えていますので退職しましたが、看護師で有ることに誇りを持ちこれからの人生に挑みたいと思っています。

最後に皆様の御健勝をお祈り致します。

海南市民病院 上田陽子



この度、栄誉ある県ナース章を受章し、身に余る光栄に存じております。思いがけない受章は、関係者各位の皆様方に推薦して頂いたお陰と感謝申し上げます。

私はS46年に和歌山県立高等看護学院を卒業後、看護の道一筋に歩んで参りました。その間、社会の変化に伴い、当院の環境も二交代から三交代勤務へ、訪問看護ステーションの開設、産科病棟休止、地域連携室の設置等大きく変わりました。そんな中で看護師を生涯の仕事として続けてこられたのは、上司諸先輩、同僚、後輩の励ましと支えがあったからと心から深く感謝しております。

この受章を期に、社会のニーズに応じた看護が提供できるように、看護の質向上に努力を重ねて参ります。今後ともご指導・ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

和歌山赤十字看護専門学校 野上利枝子



この度、栄えある県ナース章を賜り身に余る光栄と存じます。ご推薦下さいました関係各位の皆様方に心からお礼を申し上げます。昭和48年に和歌山赤十字看護学院を卒業し、その後臨床と看護教育に従事して参りました。この長きに勤められたのも常に導いて下さった先輩、同僚、後輩の皆様のご指導とご協力のおかげと感謝申し上げます。臨床においては、患者様やスタッフから看護のすばらしさを教えて頂きました。また、この4月から縁があり再度看護学校の方に戻ってまいりました。今後ナース章にはじないように、看護のすばらしさを一人でも多くの学生に伝えられる様、看護教育に尽力してまいる所存です。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

岩出保健所 田伏富紀



この度、和歌山県ナース章の受章に際し、御推薦いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。30年余りに亘り、県立保健所の保健師として先輩方をはじめ、同僚の皆様方の御指導、御支援をいただきながら母子保健、結核予防対策、難病対策、精神保健などの地域保健活動を微力ですが実施してまいりました。

また、今年4月から岩出保健所へ異動となり、日々保健福祉業務に取り組んでおります。

これからも、今回の受章を励みになお一層努力して行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

済生会有田病院 野村 眞佐子



この度、和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄でございます。
小さい頃からあこがれていた看護師の道を歩き始めて以後、数え切れないほど、仕事を辞めたいという思い、辞めざるをえない場面に遭遇してきました。ここまで続けられたのは家族の協力はもちろんですが、職場の仲間、先輩、上司の方々、そして働く喜びを与えてくださった多くの患者さんのおかげと感謝しております。
今後も、看護師が十分に力を発揮できるよう働く環境を整え、地域の医療に貢献できるよう努力して参りたいと思っておりますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

橋本市民病院 木村 和子



歴史と伝統のある和歌山県ナース章を頂きました。これまで支え励まして下さった皆様に心からお礼申し上げます。昭和45年に看護職員が誇りと自信を持って職務を遂行するためのひとつとして創設されたナース章~そのメダルの重さに、喜びと責任を痛感しました。また、自分自身の「看護人生」を振り返るよい機会を与えて頂きました。「看護は実践」「出来る力を探す」「いいところ探し」をモットーに、安全で安心出来る看護がより多くの人々に提供出来るように、また後輩の育成に努力して行きたいと思っております。

その他表彰及び受章の方々

- ・全国保健所長会会長表彰 小出 栄子
- ・和歌山県医療功労賞 宮本 トシコ

~~~~ 東洋羽毛のサービス ~~~~

リフォーム	古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングル4枚などに、作り替える事も出来ます。
補修・お直し	穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
クリーニング	大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
特別注文	製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作れます



※お布団の事なら、何でもご相談下さい。

社団法人 和歌山県看護協会 推薦

東洋羽毛工業(株)大阪営業所

和歌山店 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
フリーダイヤル 0120-32-7766

※ 阪和営業所から和歌山店に変更になりました
大阪店 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13
フリーダイヤル 0120-88-2104


ホームページアドレス
<http://www.toyoumo.co.jp>

看護の希い (19)

★がんばってます、保健師さん★



橋本保健所 雑賀 恵子

保健所で、母子保健を担当しています。

未熟児や病気の子どもたちへの家庭訪問や健診を通して、子どもの発達の力強さに家族とともに喜び、また母親のたくましさに励まされることも多くあります。

地域では、子どもたちを支える多くの職種が1つの家族に関わっていることが多いために、ネットワークが大切となり、そのなかで保健師は、地域のコーディネーターとしての役割が大きいと思っています。

子どもたちが健やかに生活ができるように関係機関と連携を深めながら、今後も取り組んでいきたいと思っています。

岩出保健所 辻村 由佳

保健所で精神保健担当の保健師として、来所や電話相談、家庭訪問、時々緊急ケースの日々を送っています。そして、今年は『記念すべき?』県看最後の保健師学生の担当も仰せつかり、さらにフル稼働です。

自分が学生だった時にご指導いただいた先輩保健師さんの足下にもおよびませんが、「いっぱい喋ってもらえました。」と家庭訪問から嬉しそうに戻ってくる学生さんを見ながら、理想は高く、ハードルは低く、これからも初心を忘れず頑張っていきたいです。

和歌山市保健所 有本 千佐

感染症対策の部署に異動して、半年。私の役割は、結核患者さんが安心して服薬し、治療終了できるように患者さんや家族をしっかりとサポートすること、と胸をはって言える自信が少しずつついてきました。保健師の仕事って何?という保健師の自問自答が多いなかで、仕事の内容は明確です。今までの仕事と変わらないのは、人とのコミュニケーションが大切なこと。仕事仲間や住民の患者さんとのコミュニケーション上手になれるように頑張っています。

和歌山県難病・子ども保健相談支援センター 石井 美保

難病・子ども保健相談支援センターで難病患者の相談支援を担当させていただいています。

センターでは、「難病患者・長期療養児が安心して暮らせる環境づくり」を目指して、療養等相談、患者・家族会への育成支援、医療講演会・研修会の開催、相談支援に係る情報収集・提供等を行っています。患者、家族だけでなく、関係者の相談、研修会等も行っていきますので、御活用ください。

海南保健所 塩崎 裕美

実は私、がんばってません。
なぜなら、みんなが助けてくれるから。

職場では、頼れる上司、やさしい先輩、かわいい後輩。
地域では、現場仕込みの訪問看護師、理学療法士、ケアマネージャー、ヘルパー。
いつも元気なデイサービスや施設の看護・介護要員。
何かと相談にのってくれる市役所・町役場の担当職員。

そして、病気や障害を抱えながらも地域で過ごしている皆さんの笑顔。
その方々を支えている家族のあたたかさ。

そんなみんなに助けられ、楽しく保健師やっています。

湯浅保健所 尾崎 裕美

職場は転勤があるので、地名や関係者の方を覚えるまでは戸惑います。でも、様々な専門職の方と共同で仕事ができることがうれしいです。また、看護職としての技術（傾聴すること、手をさしのべること）を活用して、住民の方に病気の治療の必要性を理解してもらえた時は、やりがいを感じます。充実した気持ちを、月にかけて詠んだ自作の歌を紹介させていただきます。

「半月を 我的工作に見立てたり 病みたる人の 受け皿とならん」

御坊保健所 嶋田 左知代

保健師の仕事始めて27年になります。

ここ10年間は精神保健を担当し、精神障害者の支援を行っています。

精神保健は、平成14年に精神保健福祉法が改正、さらに今年4月からは障害者の自立支援法施行など大きく変化しました。支援をしていて考えることは、こころの病気も身体の病気と同じように、早期発見と早期治療で軽症のうちに治療すれば治るといことです。

何かとストレスの多い毎日です。時々「自分のこころの声を聞いてみる」をモットーに生活していけたらと思います。

田辺保健所 中村 幸美

保健師として県に採用され20年が過ぎました。当初は、地域へ出向き、家庭訪問等で、地域の方々の話をゆっくり聞き、共に悩んだり、考えたり、アドバイスをしたりと地域活動が中心でした。法改正等により、保健師の役割が多様化する中、現在の職務においては、住民の方々と直接接する機会が少なくなりました。しかし、与えられた立場で、常に住民の健康や生活を考え、保健師という専門職をいかしていきたいと思っています。

新宮保健所 土橋 まどか

精神保健を担当するようになって2年が過ぎようとしています。そういった中、自宅で引きこもっていた患者さんが、デイケアや作業所に通い、以前とは違う笑顔でいきいきと過ごしている姿を見ると、人と人とのつながりや出会いの大切さを実感します。

まだまだ社会資源が少ない新宮、東牟婁地域ですが、障がいのある人もない人もお互いに理解を深め、心豊かに安心して暮らせる地域づくりを目指して、頑張っていきたいと思っています。

保健師のコーナー

保健師職能委員 中井光代

平成17年6月より保健師職能委員をさせていただいています。最初は、自分に務まるのだろうかという不安と、なにをすればいいのかという戸惑いが、いりまじったスタートでしたが、職能委員長さんをはじめ、各地域の職能委員のみなさまとお会いし、委員会への参加を重ねるごとに不安や戸惑いは吹き飛び、たいへんよい経験をさせていただきました。また、委員会では、日頃の業務で知ることができない話題も多くあり、大変貴重な情報交換の場になっています。

昨年実施した「保健師ニーズ調査」では、大変お忙しい中、たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。また、在宅ALS患者さんの災害時の対応についてのまとめとして「ALS患者の在宅療養状況マップ」や「緊急カード」を作成していますので参考にしてください。

今年度の委員会のテーマは、「災害時の緊急対応」です。保健所や各自治体で作成されているマニュアルを参考に、見てすぐに動けるようなダイジェスト版を作成する予定ですので、色々なご意見をお聞かせ下さい。よろしくお願いいたします。

助産師のコーナー

助産師職能委員 神戸祥子

現在、助産師職能委員では、昨年度に引き続き思春期の性教育に取り組んでいます。性教育とは「心が生きる教育」といわれます。

私達助産師が行う思春期教育は、生命の誕生に立ち会う体験を通して、いのちの大切さを伝えていくことだと考えています。出産の現場から見えてくる赤ちゃんの生命力の素晴らしさや、受精の神秘性を理解してもらうことで、自分自身がたった一つしかない選ばれたいのちであり、生きていることが本当に素晴らしいことなんだ。と感じていただけることを願っています。避妊法や性感染症の予防といった内容も大切ですが、パワーポイントを使っての出産の場面に感動する生徒も多く、講義終了後のアンケートで素直な気持ちが綴られているのを見ますと大変うれしく思います。

一人ひとりが、かけがえのない大切ないのちであることに気づき、お互いを尊重する気持ちが生まれたなら、今問題になっている「いじめ」や「虐待」も少なくなっていくのではないのでしょうか。微力ではありますが、そのように確信し今後も思春期保健指導を続けていきたいと思っています。

看護師のコーナー

看護師職能委員 森澤祐己子

7:1看護の実現のためには看護師数の増加が必須ですが、看護師獲得は困難な課題となっています。看護師数増加のためには、看護師の離職を防止すること、看護師免許を持ちながら看護師として就業していない人を減らすとともに、看護師になろうとする人を増やすことが肝要です。

少子化の時代、18歳人口をいかに看護師養成課程への進学にとりこめるかはとても重要な課題です。ふれあい看護体験を代表として、最近では小・中・高等学校でも授業の一環として職業体験や職業案内の機会が増えています。私が勤務する病院では、中学生の看護師体験を受け入れたり、高校生へのキャリアゼミナールで看護師業務について講義をしたりして、若い人材へ看護師の魅力を伝える啓発活動に力をいれています。

看護師になろうとする人口を増やす取り組みを地道に続けていくことが大事と考え、今後も続けていきたいと思っています。

私の○○

私のリフレッシュ法



国保野上厚生総合病院
上田 由加里

こんにちは。皆さんのリフレッシュ法は何ですか？私のリフレッシュ法は、なんととっても全身マッサージ♪です。肩こり・背部痛・腰痛に悩まされる私には楽しみの一つになっています。とても気分もリフレッシュされます。子供が保育園に行っている私の自由な時間に（月一回くらいですが）、マッサージに行っています。人の手ってこんなに気持ちのいいものなんだって実感します☀️ 時間とお金があれば、ゆっくり温泉にもつかりたいなあ〜♩



リレーエッセイ 友達の輪 NO.19



っかり抱っこしていました。それが6ヶ月たつと体重30kg。とんでもなく巨大化したモモちゃんに息子は隠れてしまいました。

「大変なんよお」と言いながら、楽しそうに話す友人。しかし、家族の中で確実に犬の存在感は増している様子。家族の調和がとれ、生活は規則的になり、大人・子供共に孤独感が緩和されている。家族の反対で犬の飼えない私は羨ましそうに聞きながら、「心を癒すパートナー、アニマルセラピー…うーん、うちは息子だな」と感じたのです。

（今回は、新宮市医療センターの濱口 加絵さんです）

「モモちゃん」

独立行政法人 国立病院機構
和歌山病院 山本 なぎさ

約2年前、職場の友人が「家の中で犬を飼う！」と急に言い始めました。（彼女は急ではなく家族で何回も話しあって結論を出したらしい…。）周到な準備のうえで新築に伴って、とうとう犬を飼うことになったのが約1年前。毎日犬の話を知っていると、元来の犬好きからか興味津々。さっそく会いに行く事に。生後1ヶ月のとても可愛いモモちゃんを我が家の当時2歳の息子は、し

My Hospital

医療法人 白浜はまゆう病院



南紀白浜、目の前に白良浜を一望する丘に、当院白浜はまゆう病院は1994年2月1日に、元国立白浜温泉病院の施設を利用して開院致しました。

病床数270床、一般病棟82床、療養型病床群188床（医療保険51床・介護保険100床・回復リハビリテーション病棟37床）の病院です。病院の理念は「私たちは、地域に根ざした医療機関として、最高の誠実さと最大限の努力で、親切で質の高いサービスを提供し健康・福祉のレベルの高い地域づくりを行います」を基本に、職種間の連携を大切に努めています。また、利用者の方が当院を退院された後も安心して継続した診療・看護ケアが受けられるよう、4箇所の診療所・訪問看護ステーション・介護支援センターがあり、病院本体と密接に連携して地域医療を推進しています。

2005年9月に電子カルテが導入され、情報の共有化が図られるようになりました。2001年に病院機能評価を受審。本年4月には病院機能評価 Ver.5を更新し、7月に認定証をいただきました。

私達は、医療をとりまく環境が大きく変化する中であっても、地域に密着して、健康増進から予防・治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉の提供に努めたいと思います。



近畿地区研究学会を終えて

看護研究学会委員長 戸田 裕信



平成 18 年度近畿地区看護研究学会が、12 月 14 日 15 日の二日間にわたり和歌山県民文化会館にて開催されました。本年度は、近畿学会に重点を置き、県学会を取りやめることとなりました。

学会テーマは「変革の時、看護の力を発揮しよう」であり、医療制度改革関連法により看護の現場でも、よりいっそう質の高い看護が求められています。特別講演のテーマも「医療制度改革によって看護現場はどう変わる－診療報酬改定その後－」とし、京都大学医学部附属病院院長補佐兼看護部長の嶋森好子

先生に講演して頂きました。

今回、口演発表は、第 1 会場、第 2 会場、第 3 会場で行われ、1 題は発表者急病のため取りやめとなりましたが、52 題の発表



がありました。

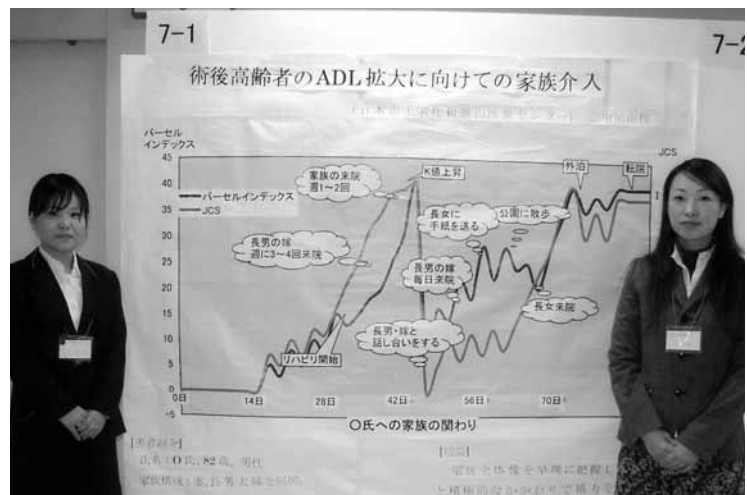
示説発表は第 4 会場で 39

題の発表があり、プレゼンテーションを行わず、発表者と参加者の意見交換の場としました。

事例発表は「在宅支援」「嚥下水分管理」「緩和ケア」の 3 群に分け 7 題の発表がありました。発表会場は立ち見が出るほど盛況となり、担当

者は急遽配置していた机を外に出し、より多くの人に参加出来るよう、配慮しました。また、2 階ロビーでは「嚥下水分管理」の観点から企業の出展を計画し、3 社に関連の商品を展示してもらいました。

学会参加者は両日とも 700 人を超え、フロアからも活発な質疑が行われました。今後、学会での成果が活かされることを期待し、次回開催の大阪府でもたくさんの演題が応募されることを願っています。



運営に関する会議

第4回常務理事会 第5回理事会

開催日時 平成18年10月31日(火) 10:00~17:00

内容

1. 報告事項

1) 地区別法人会・職能委員長会報告

- ①保健師・助産師教育制度について
- ②看護職員確保の課題について
- ③看護基礎教育の中間まとめについて
- ④フィリピン人看護師の受け入れについて、日本看護協会の見解
- ⑤CNR・ICN学術集会の進捗状況について
- ⑥国際協力費特別会計の廃止及び使途目的の変更について次年度総会に提案する
- ⑦保健師助産師看護師職能委員会活動報告

2) 平成18年度事業経過及び中間監査報告

監査の結果を監査委員が報告

2. 協議事項

1) 看護研修センター建設に関すること

- ①新看護研修センターの概要について
- ②新看護研修センター建設方式の選択に関すること
- ③建設資金について、会員預託方式をとる

第一期預託金 土地購入に要する費用とする

第二期預託金 研修センターの建設(用地取得から3年後を目標に)

- ④購入予定地が第一種中高層住居専用地であり、看護研修センターの建設が可能か行政に確認後進めることとする

臨時理事会・総会等保留になる

2) 訪問看護ステーション等の移管協議事項に関する件

第4回理事会において、公益法人改革や看護協会立訪問看護ステーションの運営の問題について議論の結果、看護協会が訪問看護ステーションを持つことに問題があり、休止または閉鎖することで承認されていたが、会員で引き受け手があつた場合は会長に一任するとなっていた。利用者への責任から、利用者、職員丸ごと引き受けてくれる協会会員に移管することについて協議

訪問看護ステーション固定資産等の処分計画について、移管先との覚書について協議

3) 事務長の退職について

10月31日をもって退職願いに対して承認

以上について協議の結果承認される

会員の皆さまへのお知らせ

●平成19年度看護協会会費納入について

現在、平成19年度の入会申込受付中。

平成19年度から再加入者については、新入会員と同様に入会金と年会費を納入する仕組みになっています。

再度入会金を払わないためにも、会費の納入を忘れずに、会員としての継続をお願いします。

●CNR・ICN学術集会展示ブースにおける文化交流への協力をお願い

展示ブースでは国際交流として外国の看護職の方々に、日本の思い出になるようにと和風小物や民芸品等無料で配布する計画をしています。

また、レセプション参加者に浴衣等着せらう計画もあります。そこで各家庭で使われていない浴衣や和風小物がありましたら寄付をお願いします。

各施設で取りまとめて**3月末日まで**県看護協会宛送付いただきたくお願いします。浴衣は洗濯して提供願います。浴衣のみ、帯のみの供出でも結構です。

●2007年「看護の日・看護週間」中央行事看護フォーラムの開催について

和歌山県で「看護の日・看護週間」中央行事を次のように開催します。

開催日時 平成19年5月12日 12:50~16:30

開催場所 和歌山市 県民文化会館 大ホール

メインテーマ「看護の心をみんなの心に」

基調講演、シンポジウム、コンサート、まちの保健室、看護学校紹介、専門看護師、認定看護師の紹介等を計画しています。

多くの方々のご参加を期待しております。

●平成18年度近畿地区看護研究学会への協力のお礼

平成18年12月14日、15日の2日間 和歌山県民文化会館において開催。

発表演題数 97 演題、看護研究学会参加延べ人数 1,462 人。

96 人の協力員をもって運営。皆さまのご協力で無事終了できました。

協力していただきました皆さまに感謝申し上げます。

●短歌・川柳句集の出版

前 日高総合病院 総看護師長の片山清子さんが短歌句集『心のアルバム』・元 済生会和歌山病院 総看護師長の中嶋 怜さんが川柳句集『あゆみ』を自費出版され、看護協会に寄贈していただきましたのでお知らせいたします。

●おわびと訂正

97号の「保健師のコーナー」、「看護師のコーナー」でそれぞれ「保健師職能委員長」、「看護師職能委員長」と紹介の記述にありましたが正しくは「保健師職能委員」、「看護師職能委員」のそれぞれ誤りでした。お詫びして訂正いたします。